

# 令和6（2024）年度 卒業生アンケート調査報告書

## 1. 目的

卒業生にアンケート調査を行い、本学の教育改善を図るための参考資料として活用する。

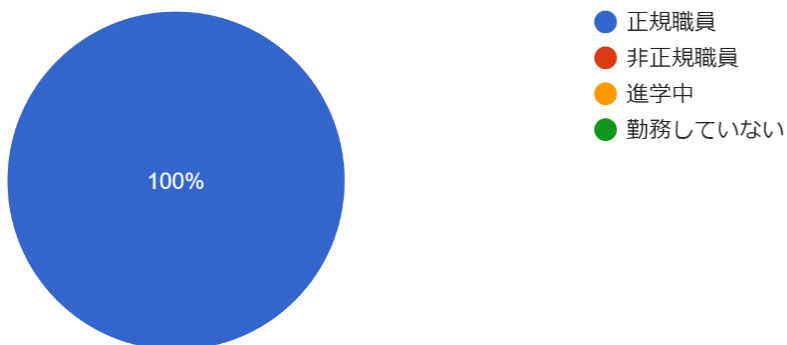
## 2. 方法

- 1) 調査期間：令和6（2024）年7月20日（土）～令和6（2024）年8月9日（金）
- 2) 調査対象：令和4年度卒業生（在籍時のメールアドレスに依頼文を送信）
- 3) 回答方法：学籍時アドレス及び文書で依頼をし、Google フォームによる回答
- 4) 設問内容：別紙2 参照
- 5) 集計数：依頼66人中27人回答 回答率41%

## 3. 集計結果

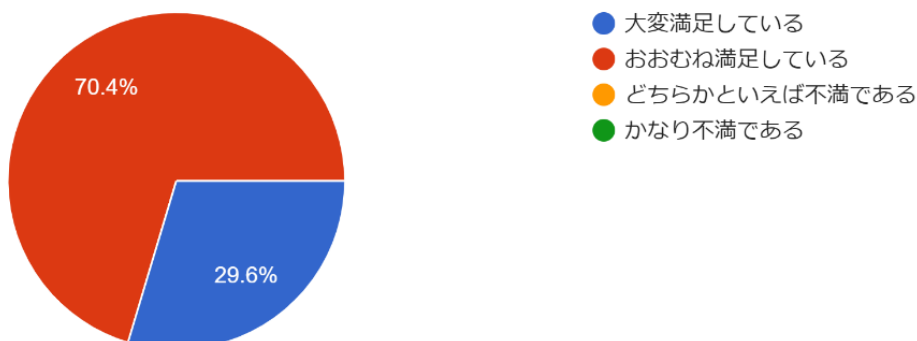
### 1) 設問1 基本情報について

現在の就業状況について伺います。

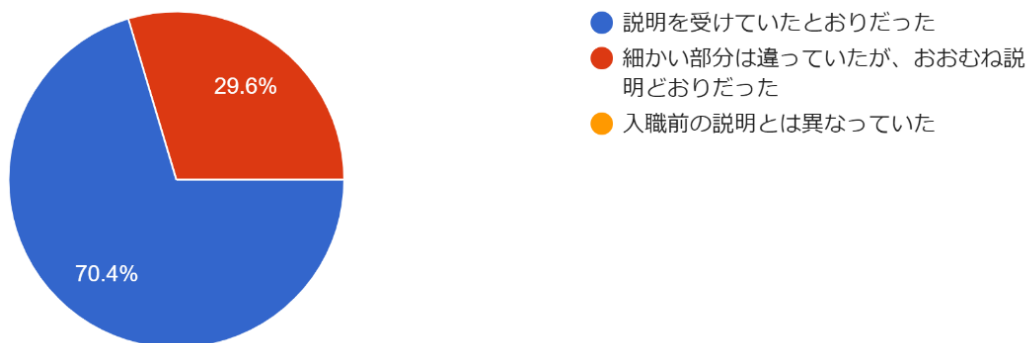


### 2) 設問2 あなたが勤務されている職場状況について伺います。

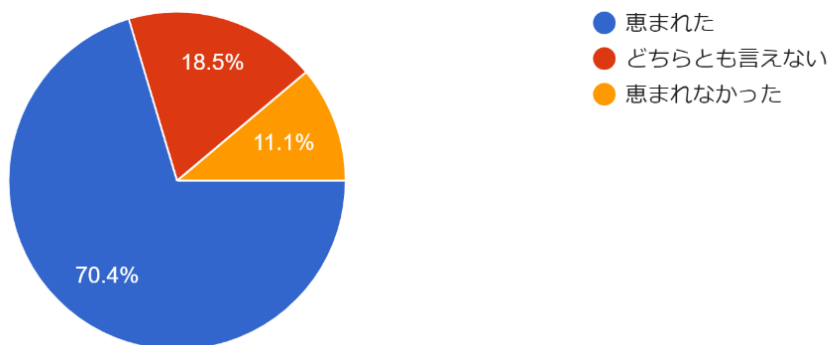
項目①あなたは職場で受けた（現在も受けている）新人研修プログラムに満足していますか。



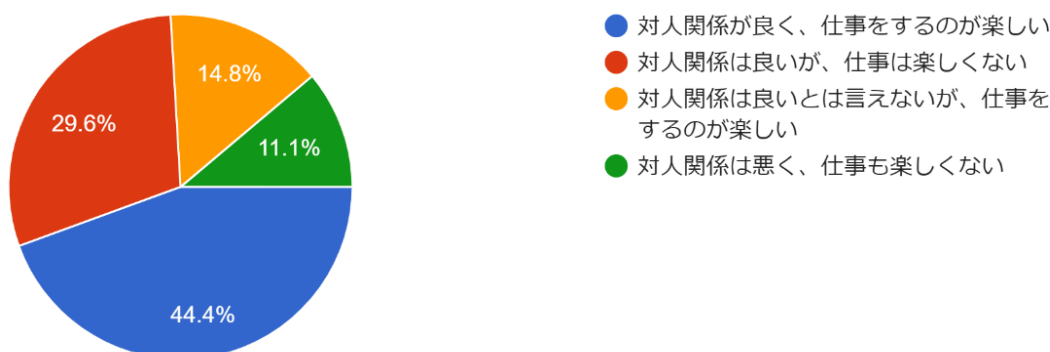
項目②就活時に説明を受けていた新人研修プログラムと、入職してから実際に受けた新人研修プログラムを比べてみてどうでしたか。



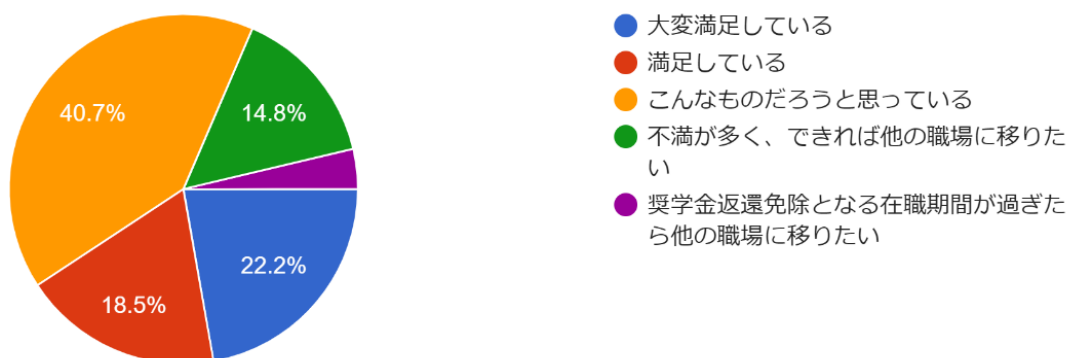
項目③教育・相談・支援を担当してくれる先輩看護職員に恵まれたとお考えですか。



項目④あなたが勤務している職場（病棟等）の対人関係や雰囲気等について伺います。



項目⑤現在の職場についての感想をお伺いします。



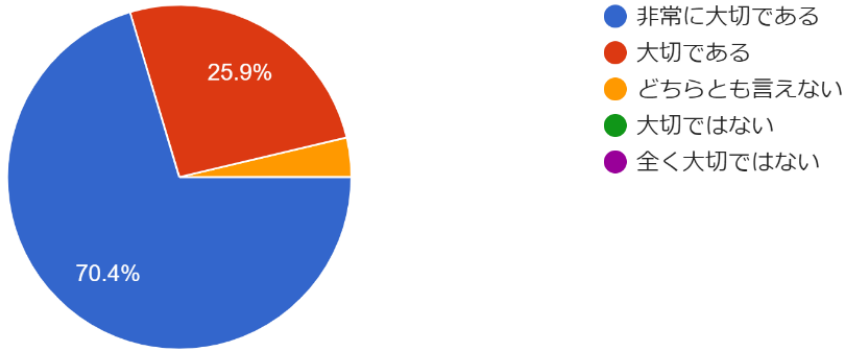
項目⑥職場を決めるに際して、先輩として在学生に伝えたいことがありましたらご記入ください。

- ・実際に働いてみないと見えない部分もあるが、人間関係は重視して見ても良いと考える
- ・勤務形態（二交代、三交代）で生活リズムや休日の過ごし方も変わるため、可能であれば1ヶ月の勤務表を見せてもらえば良いと思う
- ・学生時代落ちこぼれだったけど、今は人間関係や給料に恵まれて楽しくやっています。あまり恐れすぎずに、就活頑張ってください。看護師は就活が楽と一般的には言われていますが、今でも色々思い出すくらい私はなかなか就職先が決まらなくて苦労しました。大学の先生にいっぱい頼って良かったです。本当に感謝しております。
- ・特にありません。
- ・思っていたのと違うことが多い
- ・勤めている病院、施設、訪問看護ステーションどこでも人間関係の悩みはつきものであり、置かれた環境の中で仕事を良い方向に持って行くのは自分次第。心や自分の信念を強く持って、周りに流されず、折れずに自分のやりたい看護を今ある環境でどれ

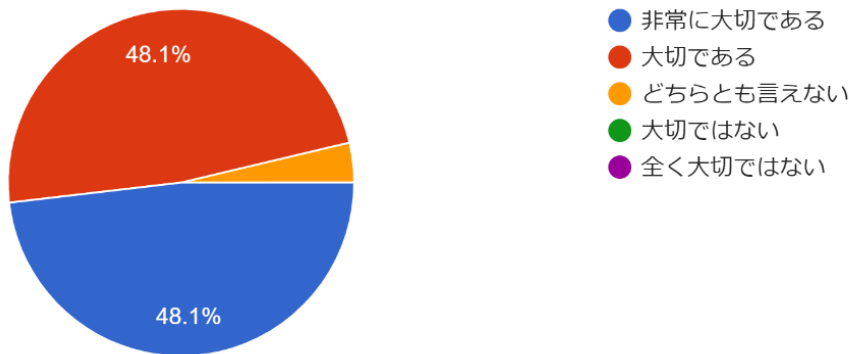
- だけ発揮できるかが重要だと思います。それでもメンタルの不調が現れ、仕事に集中できない、精神的症状が現れるのであれば転職も考えていいと思う。
- ・自分の働きやすく続けやすい職場を見つけるのが大切だと思います。無理はせず頑張ってください。
  - ・実際に務めている先輩から話を聞けると、職場環境をより知れて良いと思う。

3) 設問3 本学 DP は、現在の仕事や自分自身にどの程度大切であると感じていますか。

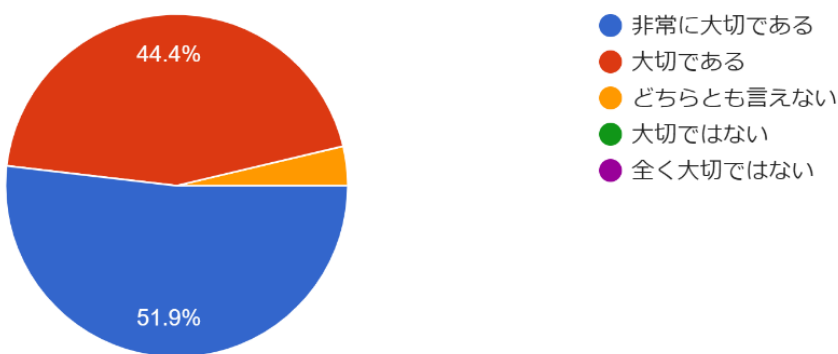
項目①人間力：周囲の人々とコミュニケーションを通して理解し合い、共感し合い、協働することができる。



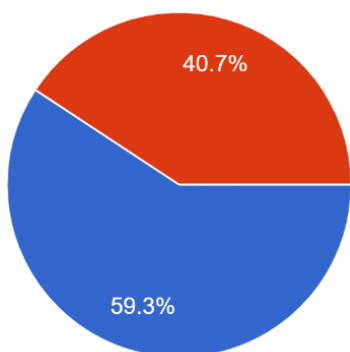
項目②ケア・スピリット：相手の人生にとっての最善を目指して、自ら進んでケアに向かう姿勢を発揮できる。



項目③人間の実践的理解：ケアの相手の意向・気持ち・状況把握を共感的に理解しようと努めることができる。

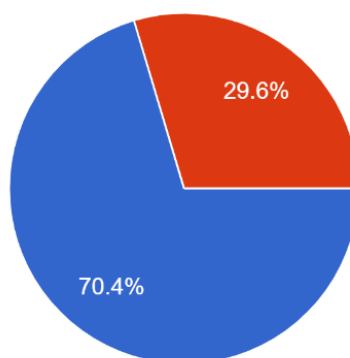


項目④専門的知識・技術とその臨床実践：看護ケアに必要なコアとなる専門的知識・技術を備え、臨床の場での、具体的な対応に活かすことができる。



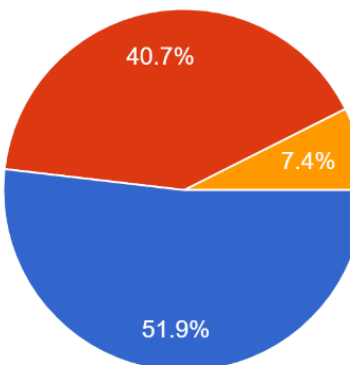
- 非常に大切である
- 大切である
- どちらとも言えない
- 大切ではない
- 全く大切ではない

項目⑤多職種連携・チームワーク：チームメンバーや多職種のケア従事者たちと連携・協働することができる。



- 非常に大切である
- 大切である
- どちらとも言えない
- 大切ではない
- 全く大切ではない

項目⑥アドボカシー：ケアの相手の側に立って、そのよい人生のために支援し、必要に応じて代弁ができる。



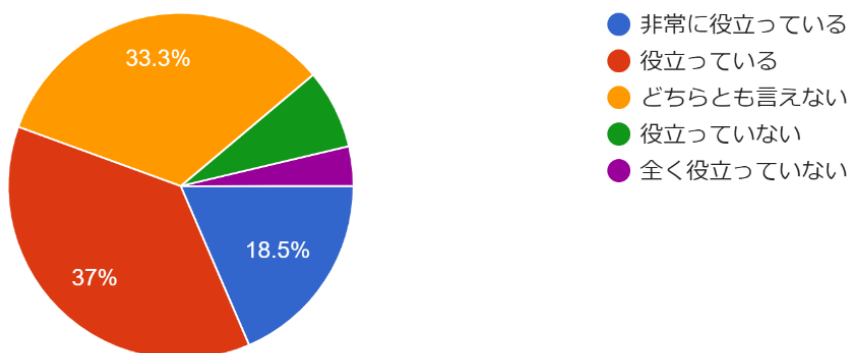
- 非常に大切である
- 大切である
- どちらとも言えない
- 大切ではない
- 全く大切ではない

項目⑦本学在学中に学びたかった分野などがありましたらご記入ください。

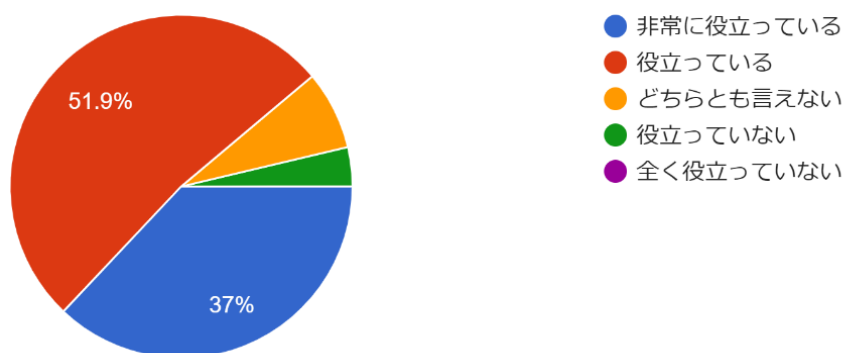
- ・優先順位や判断力を向上させる力。
- ・授業や実習でよく多職種連携が挙げられるが、具体的にどう連携をとるのか（訪問看護であればケアマネジャーや相談員との連携）、連携の取り方（利用者に何か起きた時注意しなければならないことの連絡、デイサービスにも情報共有しないといけないことなど）がもう少し分かりやすく説明を受けたかった。ヘルパー事業所、退院調節看護師など在宅では医療従事者以外にも連携を取る場合もあるため連携を可視化して説いて頂けるとありがたいと思った。
- ・相手の考えに寄り添い、相手の立場になって考える力。

4) 設問 4 大学時代の教育は、現在の仕事や自分自身にどの程度役に立っていると感じていますか。

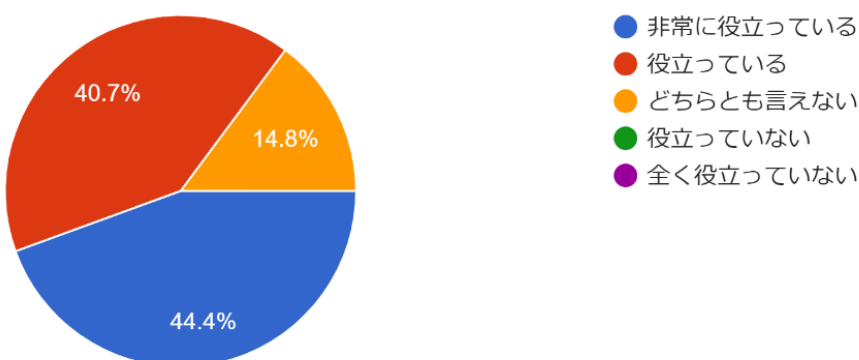
項目①基礎分野（一般教養科目、情報処理科目、言語科目等）



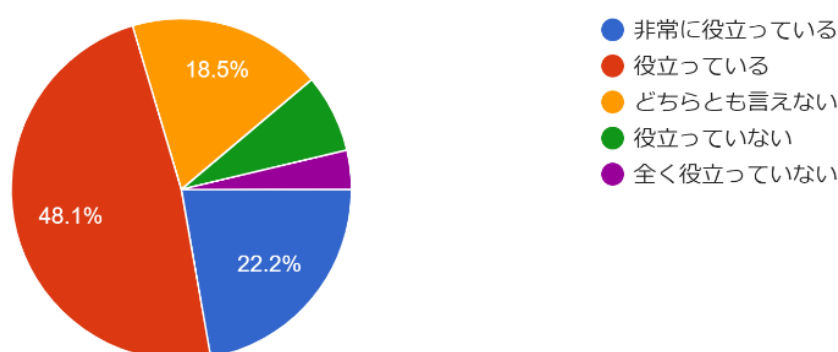
項目②専門基礎分野（人体の構造や機能・病態疾病論・保健統計学等）



項目③専門分野（看護に関する科目全般）

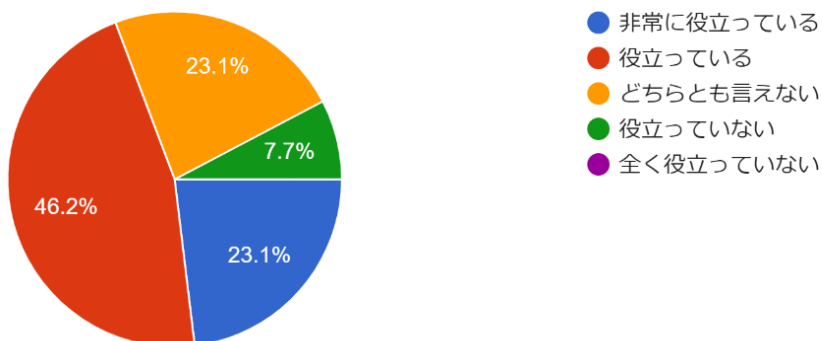


項目④統合分野（卒業研究・総合看護学実習等）

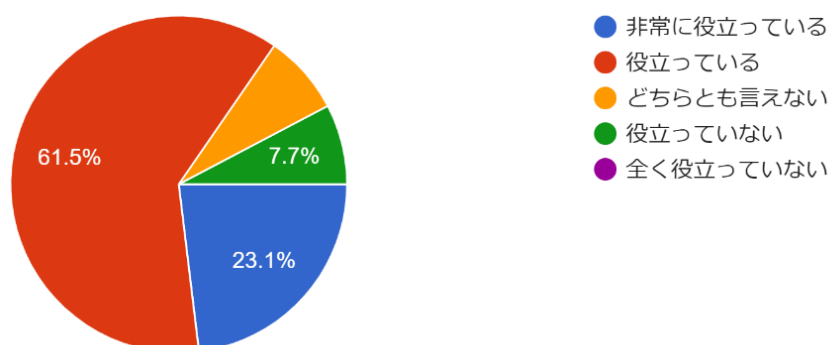


5) 設問5 大学時代の保健師教育は、自分自身にどの程度役に立っていると感じていますか。  
**※保健師として勤務されている方のみご回答願います**

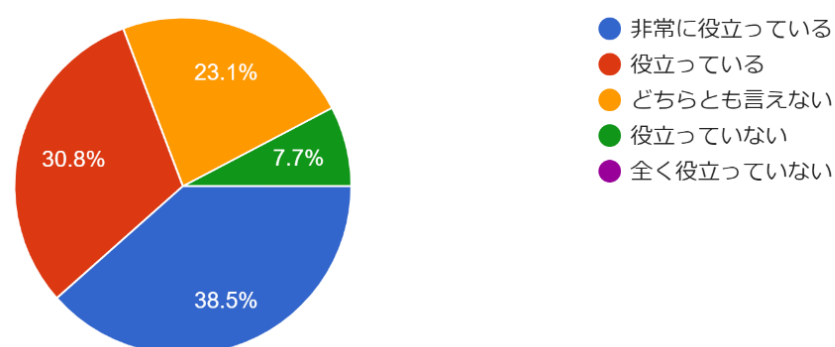
項目①地域の健康問題の明確化と解決・改善策の計画・立案



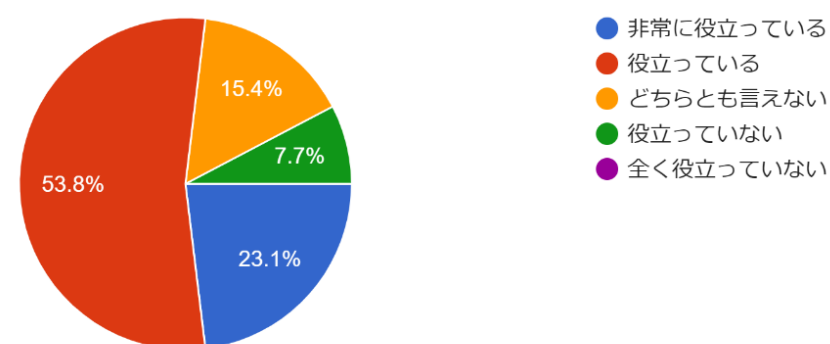
項目②地域の健康増進能力を高めるための個人・家族・集団・組織に対する継続的支援



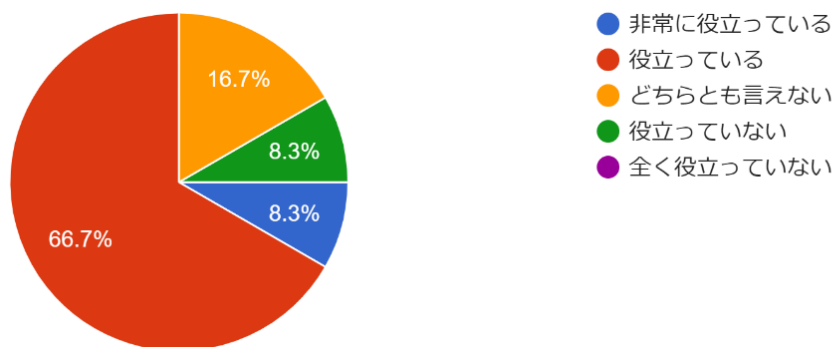
項目③地域の人々・関係者・関係機関との協働



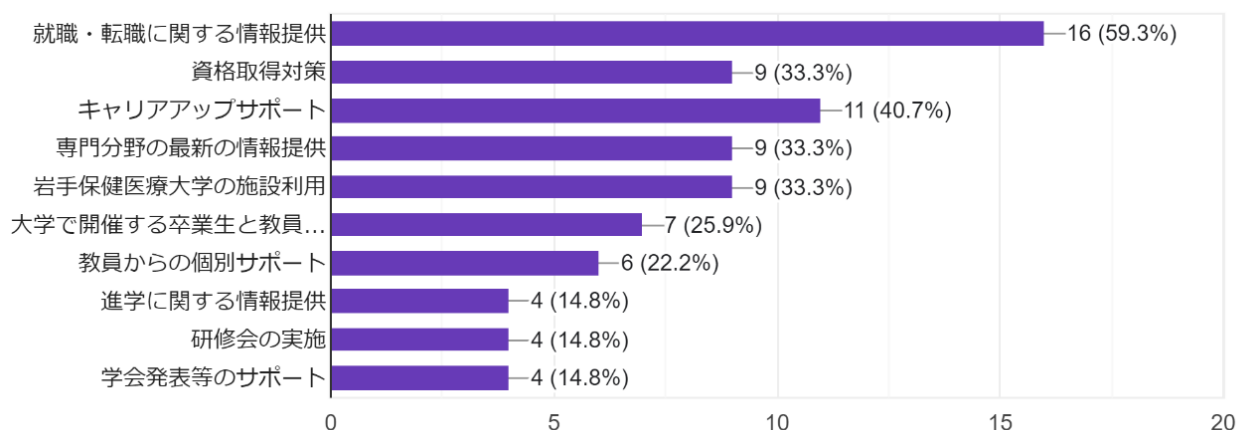
項目④地域の人々の健康を保証するための平時・発生時・回復時における健康危機管理



項目⑤地域の健康水準を高めるための事業化・施策化・社会資源の開発・システム化



6) 設問 6 卒業生に対する支援として、本学に期待することは何ですか。



7) 設問 7 教育や進路、就職支援を含め岩手保健医療大学への要望がありましたら自由にご記入願います。

- ・お世話になりました。
  - ・卒業後の支援について、よく分かっていません。転職サポートやキャリアアップサポート等をしているのでしょうか？卒業後のサポート内容について、もう少し具体的に知りたいです。
  - ・特にありません。
  - ・岩手保健医療大学を卒業できて良かったと思う。
  - ・レビューブック使わなくても国試は合格できるので、あまり強要しなくていいと思います！レビューブックへ沢山付箋つける勉強法のことです。本人の努力とやる気次第です！！
- これから訪問看護師を目指す方へですが、訪看は介護保険、医療保険の理解が仕事でもたくさん問われます！（利用者さんから毎月の利用料の集金でなぜこの値段なのか？と聞かれることがたまにあります！）介護報酬の改訂もあったので、しっかり勉強しておくといいと思います！